

事業所における自己評価表（公表）

		チェック項目	はい	どちらとも いえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
体制 環境 備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	0	0	事業所が複雑な形になっているため、活動内容に合わせて活動場所を変え、危険が内容に配慮している。 感染対策として少人数で分散して過ごせるよう軒下を活用している。 室内ではパーティションで仕切ったり間隔を開けて座るよう工夫している。
	2	職員の配置数は適切であるか	6	0	0	適切な配置人数で運営している。 その日の利用者の特性により個別対応をしたり活動内容により安全が確保できない時においては、人数を増やし手厚い支援を心掛けている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	0	0	6	段差があったり死角が多い間取りになっているため、危険回避のために監視モニターを利用したり、支援員が視野を広げ全体を見通すよう工夫している。 段差については、個々の状況に応じて支援員が支えながら危険回避をしている。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6	0	0	朝のミーティングや月1ミーティング等で振り返りや見直しを行える機会を設け、支援員全員に共有している。 毎月、責任者会議や責任者打ち合わせで会社本部とも振り返りや評価・改善をし、事業所の支援員に周知している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	0	0	定期的な保護者との面談や話し合い等の中で保護者のご意見やご要望を聞き把握している。 保護者の意向や都合に合わせた対応をしているが、利用者の発達や成長に繋がるための論議の深まりが必要を感じている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	0	0	毎年、ホームページ内で公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	0	0	問題が発生した場合には、第三者委員会の外部評価をしていただくようにしている。今年も大きな問題や課題は見られていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	0	0	年間社内研修計画のもと、定期的な研修実施を行い、学校心理士 山内先生より定期的な専門的な研修を受けている。 職員だけでなく勤務する支援員全員が参加し、支援に繋げられるようにしている。
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0	HUGシステムを活用し、定期的なアセスメントを実施している。面談や電話での聞き取りにより、ニーズを把握し分析して、個別支援計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	0	0	使用している。 SM社会生活能力検査も実施している
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	0	0	職員全員で毎月、次月の活動プログラムを考え、事業所内で検討している。 活動における振り返りも行い、利用者にとってよりよい活動プログラムの立案をしている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	0	0	身辺自立・移動・作業・コミュニケーション・集団参加・自己統制の分野を活動内容に取り入れながら、目的や療育効果を共有しながら定期的に検討している。

		チェック項目	はい		いいえ		改善目標、工夫している点など
			どちらとも いえない	いいえ	はい	いいえ	
適切な支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	0	0		事前に計画、立案し実施している。 活動目的を明確にし、活動計画を作成しながら支援している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1	0		毎日、個別活動と集団活動を実施している。 利用時間に合わせて集団活動の時間の工夫や2部制を取り入れる工夫をしている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	0	0		活動リーダーが中心となり職員間で必ず内容や時間配分、役割分担の確認を実施している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	2	0		当日は送迎があるので難しいため平日や土曜日等の休みになる時には翌週に振り返りをミーティング内で実施している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	0		当日もしくは翌日にHUGシステムを使って支援の様子を写真付きの記録を作成している。翌日の朝のミーティング内で、支援の見直しや検討を行い改善に繋げている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	0		HUGシステムを使用し、定期的なモニタリングを実施している。保護者様にもモニタリング結果を共有し確認していただき、次の計画作成での要望やニーズをいただいている。モニタリングを全職員で共有・検討し、個別支援計画作成において担当者会議を行い計画の見直し改善に繋げている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	4	2	0		実施している。 午後から勤務のスタッフは、ガイドラインの総則について熟知していないため「どちらとも言えない」となっている。
関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	0	0		児童発達支援管理責任者が主に参加している。 会議において共有したニーズを個別支援計画に盛り込み支援に役立てている。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6	0	0		常に学校と情報共有・連絡調整を行えるよう連携を図っている。年間計画や送迎時間等に関して、学校により保護者様のみ情報が共有できない場合もあるため、その場合には保護者様と情報共有ができるようにしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	6	0		現在、医療的ケアの該当児はいないため。 受け入れも行っていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	0	0		相談支援員や児童発達支援事業所を通して情報の共有をしている。 様々な機関と情報を共有したり、保護者様からの聞き取りから、より良い支援計画を作成し支援できるよう努力している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6	0	0		
	25	児童発達支援センターや発達障害者や支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	3	0		定期的な研修に参加している。 行政の専門家や顧問心理士に助言をいただいたり研修の受講をしている。
	26	放課後等児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		4	2		コロナ感染拡大により実施できない状況のため、感染状況を見ながら実施していく予定。 法人内の定型発達の保育園児との交流を検討している。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	6	0	0		甲府市には児童通所事業所連絡会の開催があるため参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	0		HUGシステムで写真や様子の記録を常に共有し、送迎時や連絡帳・電話でも共有している。 定期的な面談や電話で課題の共有を行っている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	4			保護者様に、顧問学校心理士の専門家による研修や個別相談会への参加を呼び掛け実施している。	

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	0	0	入会時に丁寧に説明しご理解いただいている。 玄関付近に常に掲示し、いつでもご覧いただけるようにしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	1	0	保護者様からの相談に丁寧に、適切な対応ができるよう行政や本部・顧問心理士と相談し、丁寧に助言できるよう努めている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		5	1	コロナ感染拡大により実施できない状況のため、コロナが落ち着いた時期に会社として立ち上げを検討し進めていく予定。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	0	苦情BOXを設置し、対応している。 毎月、社内で共有し適切に対応し再発防止に務め、丁寧に保護者様にもお伝えするよう努力している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	0	0	HUGシステムを活用しながら行っている。 今後は、公式LINEアカウントを作成し活用していく予定。
	35	個人情報に十分注意しているか	6	0	0	写真の公開等で、顔を隠すなどの対応、個人ファイルには鍵付書庫に格納等、様々な対応をしている。個人情報書類の破棄には、シュレッダーで処理している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	0	0	常に保護者様と情報交換、情報の共有を実施し対応している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	5	1	コロナ渦のため現在実施はしていないが、POCCOグループ内で実施したイベントや地域イベント等への参加を検討している。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者が周知しているか	6	0	0	各種マニュアルを整備し、定期訓練等を実施し、改善点は改善している。モニタリング時に改めて説明しご理解いただく機会を設定している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	0	0	各種マニュアルを整備し、定期訓練等を実施し、改善点は改善している。訓練については、HUGシステムを活用し保護者様に共有している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応しているか	6	0	0	虐待防止マニュアルを整備し、社内研修では全職員が受講し社外研修も講義できるよう申し込みを随時行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	0	0	全職員が研修受講することを会社として決定している。 身体拘束を行う場合は、個別支援計画書に対応方法を記載し、保護者の同意を得ている。やむを得ず、身体拘束を行った場合には記録を残し保護者様にサインを捺印をいただいている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	0	0	利用開始時に、アレルギーの調査を行い、同意書をいただき、全支援員で情報をしっかり確認し、アレルギー除去を行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	0	0	毎月、ヒヤリハット事例を作成し、社内会議や事業所会議で共有し、事故防止に努めている。